

HITACHI

“専任のオペレーターに任せず、もっと自分でSEMを使いこなしたい!” “もっと多くの部署でSEMを利用したい!”—こんなニーズにおこたえるのが、日立走査電子顕微鏡S-2600N/S-2600H。含水試料や絶縁体を無処理で観察・分析できるS-2600N、そして高真空専用機S-2600Hは、はじめての方でも使える分かりやすいメニューウィンドウ、設置場所を選ばないコンパクトボディを実現し、SEMをさらに身近により使いやすくしました。

ユーザーの
もっと!
もっと!
に、おこたえしました。

COMPACT BODY

設置場所を選ばないコンパクトな一体型ボディで、SEMをもっと身近に。

EASY OPERATION

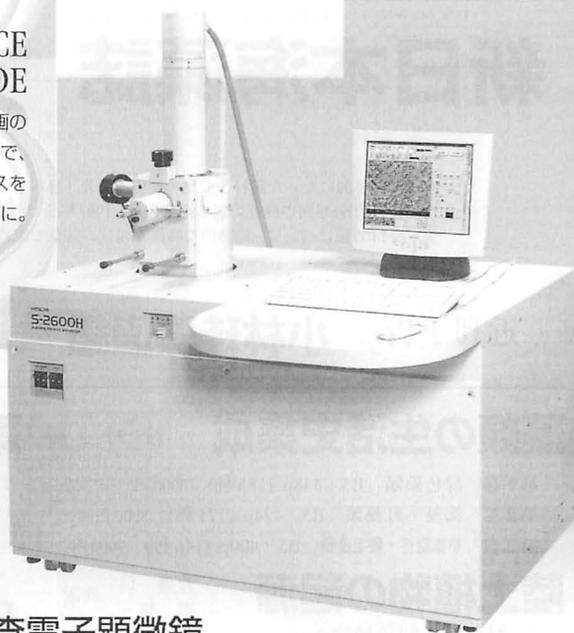
ラクラク操作のタブ方式メニューウィンドウと機能の自動化で、SEMをもっと簡単に。

WITHOUT PREPARATION

生サンプルを無処理で観察できるNモードで、SEMをもっと活用(S-2600N)。

MAINTENANCE GUIDE

3D CG 動画のわかりやすいガイドで、メンテナンスをもっと安心・確実に。



主な仕様

形式	S-2600H	S-2600N
二次電子分解能	4.0nm	
N-モード分解能	—	5.0nm
倍率	×15~×300,000	
加速電圧	0.5~30kV	
最大試料寸法	60mm径	
PC、OS	PC/AT互換機、WindowsNT®	

日立走査電子顕微鏡

S-2600N/S-2600H

* WindowsNTは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corp.の登録商標です。

日製産業株式会社

科学システム営業本部 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号(日製産業ビル) 電話 ダイヤルイン(03)3504-7211 FAX (03)3504-7745

URL <http://www.nisseisg.co.jp/kagaku/>

株式会社 日立サイエンスシステムズ

本社工場 〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛1040番地

電話 (029)272-5471(代表) FAX (029)274-4497

URL <http://www.hitachi-science.co.jp>

株式会社 日立製作所

計測器グループ 〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号(新丸ビル)

電話 (03)3212-1111(大代) FAX (03)3212-1493

URL <http://www.hitachi.co.jp/Div/keisokuki>

世界の淡水産紅藻

熊野 茂 著

B5判・上製416頁・本体価格28000円

清澄な水域に生息している淡水産紅藻は、環境汚染に極めて敏感であるため、地球的規模での水の汚染の危険を人類に知らせる有効な指標としての役割を担っている。しかし水質の汚染に伴い残念ながら淡水産紅藻種のいくつかの種は既に絶滅し、また多くの種の絶滅が危惧されている。本書は淡水産紅藻という分類群の現時点での研究成果をまとめたものであり、世界で認められている淡水産紅藻の大部分の分類群を、種、変種のランクまで収録する。

淡水藻類入門

淡水藻類の形質・

種類・観察と研究

山岸 高旺 編著

B5判・700頁(口絵カラー含む)・本体価格25000円

「日本淡水藻図鑑」の編者である著者がまとめる、初心者・入門者のための書。多種多様な藻類群を、平易な言葉で誰にも分かるよう、丁寧に解説する。I編、II編で形質と分類の概説を行い、III編では各分野の専門家による具体的事例20編をあげ、実際にどのように観察・研究を進めたらよいかを理解できるように構成する。

淡水藻類写真集

1巻

山岸 高旺・秋山 優 編集

～20巻

各巻 B5判・216頁・100シート

1・2巻4000円、3～10巻5000円、11～20巻7000円

淡水藻類写真集ガイドブック

山岸高旺 著

B5判・144頁・本体価格3800円

新日本海藻誌

— 日本産海藻類総覧 —

吉田 忠生 著

B5判・総頁1248頁・本体価格46000円

本書は古典的になった岡村金太郎の歴史的大著「日本海藻誌」(1936)を全面的に書き直したものである。「日本海藻誌」刊行以後の約60年間の研究の進歩を要約し、1997年までの知見を盛り込んで、日本産として報告のある海藻(緑藻、褐藻、紅藻)約1400種について、形態的な特徴を現代の言葉で記載する。植物学・水産学の専門家のみならず、広く関係各方面に必携の書。

近刊予告

小林珪藻図鑑

小林 弘

南雲 保・出井雅彦・真山茂樹・長田敬五 著

藻類の生活史集成

堀 輝三 編

第1巻 緑色藻類 B5・448p(185種) 8000円

第2巻 褐藻・紅藻類 B5・424p(171種) 8000円

第3巻 単細胞性・鞭毛藻類 B5・400p(146種) 7000円

陸上植物の起源

渡邊 信 共訳

堀 輝三

— 緑藻から緑色植物へ —

A5・376p・4800円

最初に海で生まれた現生植物の祖先は、どのような進化をたどって陸上に進出したのか——。分子生物学、生化学、発生学、形態学などの成果にもとづく探求の書。

日本淡水藻図鑑

廣瀬弘幸・山岸高旺 編集

B5・960p・38000円

図鑑としての特性を最高度に発揮す為には図版は必ず左頁に、図版の説明は必ず右頁に組まれ、常に図と説明とが同時にみられるように工夫。また随所に総括的な解説や検索表を配し読者の便宜を図る。

藻類多様性の生物学

千原光雄 編著

B5・400p・9000円

藻類の今を見渡し、理解するための最適の書。斯界の第一人者により、藻学および周辺領域の膨大な知識の蓄積が整理され、新しい研究成果も取り入れられている。藻学を学ぶ方、またこの分野に興味のある方の新たなスタンダード。

日本の赤潮生物

福代・高野 共編

千原・松岡

— 写真と解説 —

B5・430p・13000円

日本近海および日本の淡水域に出現する200種の赤潮生物を収録。赤潮生物の分類・同定に有効な一冊。

原生生物の世界

九山 晃 著

九山雪江 絵

細菌、藻類、菌類と原生動物の分類

B5・440p・28000円

原生生物、すなわち細菌、藻類、菌類と原生動物の分類という壮大な世界を緻密な点描画とともに一巻に収めた類例のない書。

表示の価格は本体価格ですので、別途消費税が加算されます。

〒112-0012 東京都文京区大塚3-34-3

TEL 03-3945-6781 FAX 03-3945-6782

内田老鶴園

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格、各号、会員 1,750 円、非会員 3,000 円；30 巻 4 号（創立 30 周年記念増大号，1-30 巻索引付き）のみ会員 5,000 円，非会員 7,000 円；欠号 1-2 巻，4 巻 1, 3 号，5 巻 1, 2 号，6-9 巻全号。「藻類」バックナンバーの特別セット販売に関しては本誌記事をご覧ください。
2. 「藻類」索引 1-10 巻，価格，会員 1,500 円，非会員 2,000 円；「藻類」索引 11-20 巻，価格，会員 2,000 円，非会員 3,000 円，創立 30 周年記念「藻類」索引 1-30 巻，価格，会員，3,000 円，非会員 4,000 円。
3. 山田幸男先生追悼号 藻類 25 巻増補，1977，A5 版，xxviii + 418 頁。山田先生の遺影，経歴・業績一覧・追悼文及び内外の藻類学者より寄稿された論文 50 編（英文 26，和文 24）を掲載。価格 7,000 円。
4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編，1972，B5 版，xiv + 280 頁，6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で，20 編の研究報告（英文）を掲載。価格 4,000 円。
5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究 1977，B5 版，65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

2001 年 3 月 5 日印刷

2001 年 3 月 10 日発行

© 2001 Japanese Society of Phycology

日 本 藻 類 学 会

禁 転 載
不 許 複 製

Printed by TOPRI

編集兼発行者 田 中 次 郎

〒108-8477 港区港南 4 - 5 - 7

東京水産大学

Tel & Fax 03-5463-0526

email jtanaka@tokyo-u-fish.ac.jp

印刷所

株式会社 東プリ

〒144-0052 大田区蒲田 4 - 41 - 11

Tel 03-3732-4155

Fax 03-3730-8286

発行所

日 本 藻 類 学 会

〒990-8560 山形市小白川町 1-4-12

山形大学理学部生物学科

Tel 023-628-4610

Fax 023-628-4510

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôru)

第49巻 第1号 2001年3月10日

目次

坂西 芳彦・飯泉 仁 北海道東部沿岸に生育する寒海産コンブ目数種の夏季の 光合成－光特性	1
研究技術紹介	
鈴木 秀和, 大石 喜久, 檀 紫, 南雲 保: 集束イオンビーム (FIB) 加工装置による 微細藻類断面の観察	7
藻場の景観模式図	
寺脇 利信・新井 章吾: 6. 北海道厚岸町・北海道大学厚岸臨海実験所地先	11
藻類学最前線	
石田 健一郎: 一生使える使い捨て葉緑体—ウミウシのクレプトクロロプラスト—	14
海外藻類事情	
大野 正夫・平岡 雅規: ヨーロッパのアオサについて	17
最終講義	
前田 昌徹: 連鎖について—海藻多糖の化学構造研究—	21
吉田 忠生: ヒジキの学名について	38
香村 眞徳: 藤山虎也先生のご逝去を悼む	40
秋季シンポジウム要旨 (2000.10.27) 「21世紀における海藻の研究と利用」	
佐藤 純一: ワカメ業界の課題	43
西出 英一: 褐藻多糖研究の課題	51
大野 正夫・村岡 大祐: 第17回国際海藻シンポジウム (南アフリカ) 参加記	59
松山 和世: 2000年度「藻類談話会」参加報告	63
学会シンポジウム情報	
マリンバイオ2001	64
英文誌 Phycological Research 48 (3) 掲載論文和文要旨	65
原 慶明: ごあいさつ	69
学会録事	70
学会会則	75
和文誌「藻類」投稿案内	76
日本藻類学会第25回大会 (東京, 2001) プログラム	79